

2016 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この冊子は、出願時に選択した科目の問題冊子です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

I 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問1は記述解答用紙に答えなさい。問2～問9はマーク解答用紙にマークしなさい。(30点)

仏教は6世紀に朝鮮半島から日本に伝えられたが、これは大乘仏教の系統に属する①ものであった。

伝来した仏教はしだいに広まり、飛鳥地方を中心とする畿内の地では、6世紀末頃になると、有力な王族や豪族が、古墳に代わる権威の象徴として大寺院を次々と建立した。また、聖徳太子が定めたとされる憲法十七条に「二に曰く、篤く [1] を敬へ」とあるように、政治を行うに当たっても仏教の考え方が取り入れられた。そして、百済の僧 [2] が暦法を伝えたといわれるように、大陸からの渡来僧は当時の最新の知識・技術の持ち主でもあった。

壬申の乱の後、7世紀後半から8世紀初頭にかけて白鳳文化とよばれる仏教文化が花開いた。もともとは [3] 寺の薬師三尊の本尊の頭部であったという興福寺仏頭は、白鳳文化を代表する彫刻の一つである。

710年に平城京への遷都が行われ奈良時代が始まるが、740年に藤原広嗣の乱がおこり、それから数年の間、聖武天皇は都を転々と移すなど政情が不安定化した。このため聖武天皇は仏教が持つ鎮護国家の思想により国家の安定を図ろうと考え、743年に [4] 宮で大仏造立の詔を発した。こうして国家の手厚い保護を受けた仏教はさらに大きく発展した。平城京には南都七大寺をはじめとする大寺院が壮麗な伽藍を誇り、そこでは仏教理論の研究が進められ南都六宗が形成された。奈良時代の文化もこうした仏教の強い影響を受け、仏像制作では従来からの木像や金銅像のほかに、塑像や [5] 像といった技法も発達した。

平安時代に入ると、唐で学んだ最澄と空海が天台宗と真言宗という新しい仏教の教えを日本にもたらし、撰関時代には、その2宗が祈禱を通じて現世利益を求める貴族と結びついて、圧倒的な勢力を持つようになった。また、神仏習合が進み、本地垂迹説も唱えられるようになった。一方で、10世紀半ば以降、現世の不安から逃れようとする浄土教も、空也や源信などの力により人々の間に広まっていったが、この浄土信仰は、正法・ [6] の世に続き末法の世が来るという末法思想によりさらに強められた。そして、こうした浄土教の流行は、撰関時代の文化・美術にも大きな影響⑦

を及ぼした。

1086年に白河上皇が院政を始めた後、院政期の上皇は仏教をあつく信仰した。また、大寺院は莊園獲得などの權益確保に走り、独自の権力を持つようになっていった。^⑧そうしたなか、浄土教の思想はさらに広まっていき、各地に阿弥陀堂が建立された。現在の福島県にある はその一例である。

問1 文中の空欄 ～ に入るもっとも適切な語・人名を漢字で答えなさい。

問2 下線部①に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 日本に仏教が公式に伝えられた年は、『日本書紀』によれば538年とされる。
- b 仏教は、日本に公式に伝えられる以前から、司馬達等その他の渡来人の間で信仰されていたと考えられている。
- c 大乘仏教は、インドから東南アジアにも伝えられた。

問3 下線部②に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 法隆寺の夢殿や伝法堂は、この時期に建てられた。
- b 蘇我氏が建立した飛鳥寺では、柱の根を直接に地に埋め立て屋根に瓦を葺くという建築技法が用いられた。
- c 寺院の伽藍配置の中心を占める建物は、当初は塔であったが、建築時期が下るにつれて、しだいに金堂になっていった。

問4 下線部③に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 元興寺は、南都七大寺の一つである。
- b 薬師寺は、藤原京から平城京に移された。
- c 西大寺は、平城京の左京に建てられた。

問5 下線部④に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 当時は、一つの寺院で複数の宗が学ばれていることもあった。
- b 唐から日本に三論宗をはじめて伝えたのは鑑真である。
- c 行基は法相宗を学び、社会事業を行いながら民間布教を行った。

問6 下線部⑤に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 最澄は独自の大乘戒壇の設立をめざして『顕戒論』を著わすなどしたが、生前に設立が公認されることはなかった。
- b 最澄の弟子の円珍は、天台宗に密教の要素を取り入れ、その門流は後に山門派とよばれるようになった。
- c 空海は能書家でもあり、後に橘逸勢、藤原佐理とともに三筆と称せられた。

問7 下線部⑥に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 神社の境内に神宮寺を建てるようになったのは、平安時代以降のことである。
- b 本地垂迹説とは、神は仏の仮の姿だとする思想であり、後には天照大神は阿弥陀如来の化身と考えるなど、神ごとに特定の仏を対応させるようになった。
- c 鎌倉時代末期には、仏は神の仮の姿だとする神本仏迹説も唱えられるようになった。

問8 下線部⑦に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 三善為康の『日本往生極楽記』をはじめとする数多くの往生伝がつくられた。
- b 藤原道長は法成寺を、その子頼通は平等院鳳凰堂を建立した。
- c 平等院鳳凰堂本尊の阿弥陀如来像は、一木造の手法による仏像の傑作とされる。

問9 下線部⑧に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 白河上皇は尊勝寺を、後白河上皇は法勝寺を造営した。
- b 東大寺と延暦寺は、下級僧侶を僧兵として組織し、朝廷に強訴するなどしたため、南都・北嶺とよばれて恐れられた。
- c 浄土教の教えは、寺院に所属しない聖や上人によって、社会の各層に広められた。

II 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問1は記述解答用紙に答えなさい。問2～問5はマーク解答用紙にマークしなさい。(26点)

16世紀後半、各地に戦国大名が割拠して抗争をくりかえすなか、織田信長は軍力を強化し、勢力をしだいに拡大しつつあった。一族との抗争を制して尾張統一を果たした信長は、1560年に今川義元を討ち、1567年には斎藤氏を倒して本拠を尾張から美濃に移した。このころから信長は、「天下 」という印判を使用するようになった。

1568年、信長は足利義昭を奉じて入京を果たしたが、その後も戦いを続け勢力を拡大していくことになる。1570年に信長は、 ^①の戦いで朝倉・浅井連合軍を破り、その翌年には比叡山延暦寺を焼き打ちにした。さらに1573年、信長は、不和となった義昭を京から追放し、室町幕府を滅亡させた。

信長は1576年に安土城の築城に取りかかり、新しい拠点づくりを始めた。安土は陸上交通の要所であり、同時に水運においても重要な位置を占めていた。翌年、信長は樂市令を城下に発布した。その第1条は、「諸 ・諸役・諸公事等」に関しことごとく「免許」のこととしている。つまり、安土城下では商工業者は自由な営業が許され、また、ここでは税が課されることはないというのである。さらに、樂市令の第8条は、債務を帳消しにするいわゆる が施行されても、安土城下ではそれを適用しないとし、債権を保護した。これらはいずれも安土城下の繁栄を図ろうとするものである。

信長は全国統一に向けて歩みを進めていたが、1582年、本能寺で家臣の明智光秀に襲われ、道なかばで倒れた。信長のあとを受け継いだのは、羽柴(豊臣)秀吉であった。秀吉は四国・九州と平定を進め、1590年には北条氏を滅ぼした。その後東北地方の諸大名も服属させ、全国統一を成し遂げた。

このようにして成立した豊臣政権は、膨大な財政基盤に支えられていた。当時直轄領のことを といったが、秀吉のそれは200万石を超え大きな年貢収入をもたらした。このほか、佐渡金山や但馬 銀山などで採掘される金銀も重要な財源であった。

秀吉は1585年に関白となり、さらにその翌年には太政大臣に任じられたが、これ

は天皇のもつ伝統的な権威を利用して自己の立場を強化しようとするものであった。1591年、秀吉は禁中に献納するためといって、 という国郡別に石高を記した帳簿、および国絵図（国郡図）の作成・提出を諸大名に命じたが、これも天皇の権威を秀吉の全国支配に利用したものである。

秀吉は新しい国際秩序の構築を構想し、明への侵攻を企て、朝鮮に服属と入貢、明への侵攻の先導を求めた。朝鮮がこれらの要求に応じなかったため、秀吉は1592年に大軍を朝鮮に送りこんだ。この戦争を朝鮮では壬辰 とよんでいる。

上陸した日本軍は当初朝鮮軍を圧倒し、朝鮮の各地に侵攻した。しかし、朝鮮水軍^②の活躍、各地で結成された とよばれる非正規軍の抵抗運動、明からの援軍の到着などがあり、しだいに戦局は日本側に不利になった。そのため現地の日本軍の間では厭戦気分が高まり、和平交渉が進められた。しかし、交渉はまとまらず、1597年、秀吉は再度大規模な出兵をおこなった。^③この再出兵では日本軍は当初から苦戦を強いられ、秀吉の死後日本軍は撤退した。この朝鮮出兵は日朝両国にとって悲惨な結果を招いたが、朝鮮の文化が日本に影響を与えたという側面もあった。^④

問1 文中の空欄 ～ に入るもっとも適切な語を漢字で答えなさい。

問2 下線部①に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 信長は、長篠の戦いで武田勝頼を自刃させ、甲斐の武田氏を滅亡させた。
- b 信長は、海外貿易の拠点であり、また、鉄砲の主要生産地でもあった堺を直轄地とした。
- c 信長は、門徒に信長と戦うようよびかけてきた石山本願寺の顕如を屈伏させた。

問3 下線部②に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 侵攻した日本軍のなかには投降し朝鮮に住みついた人もいたとされる。
- b 日本軍は朝鮮の首都である平壤も占拠した。
- c 日本軍の優勢を聞いた秀吉は、天皇を朝鮮に移すという構想を表明した。

問4 下線部③に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 和平交渉は、明が反対したため、明を除いて日朝間で進められた。
- b 秀吉は講和の条件として、朝鮮全土を日本の領地とするよう求めた。
- c 小西行長は和議をまとめようとして、秀吉の意向に反する交渉を進めた。

問5 下線部④に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 連行された朝鮮の陶工によって薩摩焼や萩焼などがつくられるようになった。
- b 朝鮮から伝わった活字印刷の技法を用いて慶長勅版がつけられた。
- c 捕虜となった朝鮮の儒学者によって朱子学がはじめて日本に紹介された。

Ⅲ 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問 1、問 7 は記述解答用紙に答えなさい。問 2～問 6 はマーク解答用紙にマークしなさい。(22 点)

明治新政府は、1872 年に、年貢負担者に対し地券交付を行い、翌年に土地に課税する地租改正条例を公布し、地租改正事業に着手した。他方で、政府は、1876 年には、秩禄の全廃にふみきり、かわりにすべての受給者に金禄公債証書を与えた。

政府は、富国強兵を目的に、経済・産業の近代化を推し進めた。高島・三池などの炭鉱を接收し、造船所の拡充に力を入れた。海運は、三菱(郵便汽船三菱会社)が政府の保護を受け発展した。繊維工業など軽工業の分野では、政府は、貿易振興を図るための政策に注力した。とくに生糸の生産拡大に重点をおき、の先進技術の導入・普及と工女の養成のために群馬県に富岡製糸場が設けられ、また、毛織物振興のために千住製絨所が設立された。

貨幣制度の整備も急務であり、政府は、1871 年に、金本位をたてまえとする新貨条例を公布した。政府は、民間の資本で兌換紙幣を発行させようと、翌年、の制度を模範とした国立銀行条例を定めた。国立銀行条例では、当初、設立する銀行に金と交換できる兌換銀行券の発行を義務付けていたが、この条件を満たしたうえでの設立・経営は困難を極めたため、政策転換が行われた。

西南戦争以後、激しいインフレーションがおり国家財政の危機が生じた。政府は、1880 年、前大蔵卿で参議のが中心となって、官営工場を払い下げる方針を決めるなど、財政・紙幣整理に着手した。翌年、松方正義が大蔵卿に就任すると、増税によって歳入の増加をはかる一方、徹底した緊縮財政を実行するデフレ政策を進めた。しかし、厳しい緊縮政策のため物価は下がり深刻な不況となった。農民の負担は重くなり、自作農が土地を手放して小作農に転落し、地主への土地集中が進んだ。こうして近代産業に必要な賃金労働者が多数生みだされた。

深刻な不況を伴いつつも整備された貨幣・金融制度を背景に、1886 年ころからは鉄道や紡績を中心に会社設立ブームがおり、機械技術を本格的に用いる産業革命が日本でも始まった。その中心は、繊維産業であった。1883 年には大阪紡績会社が開業し、最新の製紡績機械と蒸気機関を用いて大規模工場の経営に成功すると、以後それに刺激されて機械綿紡績会社の設立があいつぎ、従来のによ

る綿糸生産を圧迫しながら機械制生産が急増した。1890年には綿糸の生産量が輸入量を上回り、日清戦争のころから朝鮮・への綿糸輸出が急増した。製糸業は輸出産業として急速に発達し、日露戦争後は、向けを中心に生糸輸出がさらにのびた。

鉄道業では、1881年に設立された日本鉄道会社が成功をおさめると、民営鉄道の設立が盛んとなった。海運では、日本郵船会社が国内航路をおさえ、つぎつぎと遠洋航路を開いていった。

重工業は、多額の資本・高い技術力を要するため発達が遅れた。政府は、鉄鋼の国産化をめざして八幡製鉄所を設立し、1901年にの技術を導入して操業を開始した。造船業では、三菱造船所などの少数の大規模な造船所が発展したにすぎなかった。工作機械の分野では、が先進国なみの精度をもった旋盤の国産化に成功した。

米作は品種改良等によって生産量が増えたが、米食の普及や都市人口の膨張により、供給は不足しがちとなり、米は有利な商品となった。地租が定額金納、小作料はであったことは、地主経営に有利な条件となり、そのため小作地率は1890年以降も上がり続け、土地を集積した大地主は農業経営からはなれ化した。^⑤は、資産を株式・公債に投資したり、企業をおこしたりして、資本主義との結びつきを深めた。

問1 文中の空欄～に入るもっとも適切な語・氏名を漢字で答えなさい。

問2 文中の空欄～には、国名が入る。次の組み合わせのうち、アメリカが入る空欄の記号を正しく組み合わせたものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- | | | | |
|---------|---------|-------|-------|
| a A・D | b A・F | c B・C | d B・E |
| e B・D・E | f C・E・F | g C・F | |

問3 文中の空欄 あ に入るものとして適切な語を次のものから2つ選び、その記号をマークしなさい。

- a ガラ紡 b 飛び杼 c 座繰製糸
d 手紡 e 手織機

問4 次の会社のうち、下線部①の金禄公債を資金として設立されたものはどれか。該当する会社の記号を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 三菱（郵便汽船三菱会社） b 千住製絨所
c 日本鉄道会社 d 日本郵船会社

問5 下線部②の炭鉱に関連する説明文として、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 高島炭鉱は、官営事業払い下げのあと、三井によって経営された。
b 高島炭鉱と三池炭鉱は、ともにかつては藩が経営に関与していた。
c 1960年に、三池炭鉱において、大量解雇に反対する激しい争議が展開されたが、労働者側の敗北に終わった。

問6 下線部③の国立銀行条例をめぐる政策転換に関する説明文として、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a この政策転換において、金と交換できる兌換銀行券の発行義務を変更し、より調達しやすい銀と交換できる兌換銀行券の発行を義務づけた。
b 政策転換の結果、国立銀行が続々と設立されて、それぞれが銀行券を発行したため、激しいインフレーションを起こす一因となった。
c 政策転換の結果、国立銀行が続々と設立されたが、国立銀行には、商人・地主が出資したほか、華族・士族も金禄公債で出資した。

問7 下線部④や下線部⑤のように、地主は、困窮した農民から農地を買い集めて小作地を増大させた。このような地主への土地集中が可能となった背景には、所有者が土地を自由に処分できる私有財産制度が成立していたことがあった。このような土地所有権の確立をもたらした政府の政策を、文章中に現れている語を用いて答えなさい。

IV 下記の設問に答えなさい。問1～問4はマーク解答用紙にマークしなさい。問5は記述解答用紙に答えなさい。(22点)

問1 明治十四年の政変後の時期における政府と政党に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 政府は新聞紙条例を改正して政党の支部設置を禁止した。
- b 秩父事件後、自由党指導部は政府の弾圧をおそれ、自由党の解党を決定した。
- c 立憲改進黨は、党内の派閥対立が激しくなり、福地源一郎が離党した。

問2 1890年に実施された第1回総選挙に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 衆議院議員選挙法は、憲法と同時に公布され、選挙権は満25歳以上、被選挙権は満30歳以上の男性で、直接国税15円以上の納入者に与えられた。
- b 第一議会で第1次山県有朋内閣は、政府の政策は政党の意向に左右されないという立場に立っていたが、予算をめぐる民党側と対立したため、議会を解散した。
- c 投票者は投票用紙に記名する制度であったため、投票の秘密は守られていなかった。

問3 大正デモクラシー期の普通選挙運動に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 原敬内閣は、普通選挙運動などの急進的な政治刷新を求める動きには批判的で、小選挙区制を導入し、選挙権の納税資格を直接国税10円以上から3円以上に引き下げるといった改正にとどめた。
- b 全国各地で自発的に政治団体が形成され、普通選挙運動が農村にも広まっていった。
- c 平塚らいてうと市川房枝らは新婦人協会をつくり、女性の政治活動を禁じた治安維持法5条を改正するよう運動を進めた。

問4 1925年に成立した普通選挙法に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 普通選挙法により、満25歳以上の男性に衆議院議員の選挙権が認められた。
- b 加藤高明内閣は、同時に治安警察法を改正し、「国体」の変革を求める者や私有財産制度を否定する結社の組織者と加入者を処罰することにした。
- c この普通選挙法では女性に選挙権・被選挙権が認められず、女性に選挙権・被選挙権が認められたのは、第二次世界大戦後の吉田茂内閣の選挙法においてであった。

問5 第一次護憲運動と第二次護憲運動が生じた原因をそれぞれ30字以内（句読点を含む）で説明しなさい。

